



営農NEWS



春レタスの腐敗病や菌核病、灰色かび病などの発生に十分注意しましょう

春レタス栽培は、ビニールのトンネルやハウスを利用して、外気温が低くなる 12 月から 1 月にかけて定植する作型が多いため、一般的には病害虫の発生が少ない栽培体系となります。しかし、春先から被覆内の適正な温湿度管理を誤りますと、菌核病や灰色かび病などの各種病害が発生したり、レタスの結球期頃から極端な気温の低下で凍霜害をうけたりしますと、その後に腐敗病などが発生しやすくなります。

今年は、2 月の前半には寒い日が多く、また、後半には降雨日が多い傾向のようです。なお、2 月 19 日発表の長期予報によりますと、今後 1 ヶ月の天候は平年に比べて晴れの日が少ないと予想されていますので、各種病害の発生しやすい環境条件になると予想されます。

被覆内の適正な温湿度の管理は、苗の活着後から最高気温 25℃くらいを目標にし、結球肥大から収穫期にかけて次第に換気を強めていくことで、しまりの良い高品質なレタス生産が期待できます。

しかし、病害が発生しますと商品価値を著しく失ってしまいますので、換気など管理作業の時などには注意して病害の早期発見に努め、発病株があれば早期に圃場外に持ち出して適切に処分しましょう。さらに、発病株を中心に、有効薬剤のスポット（部分）散布を行うなど、被害の拡大を抑えることが重要です。

なお、薬剤防除を行う際は、晴天日を選んで、株全体に丁寧に散布し、薬液が夕方までには乾くような時間帯に済ませてください。薬剤によっては、収穫間際の散布および連用により薬害や汚れの生じる場合がありますので、注意事項をよく参照してください。また、薬剤の選定にあたっては、特に収穫前日数に十分注意してください。

表 1 レタス腐敗病の主な防除薬剤（平成 27 年 2 月 23 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
スターナ水和剤	2,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
カスミンボルドー※	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 4 回以内
カセット水和剤	1,000 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
アグリマイシンー 100	2,000 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内
ジーファイン水和剤	1,000 倍	収穫前日まで / —
Zボルドー	500～ 800 倍	— / —

注）※印の薬剤は、薬害防止のため炭酸カルシウム剤を加用してください。

表 2 非結球レタス腐敗病の主な防除薬剤（平成 27 年 2 月 23 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
Zボルドー	500～ 800 倍	— / —
ジーファイン水和剤	1,000 倍	収穫前日まで / —
スターナ水和剤	2,000 倍	収穫 14 日前まで / 2 回以内

表 3 レタス菌核病と灰色かび病の主な防除薬剤（平成 27 年 2 月 23 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
アフェットフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～ 3,000 倍	収穫 3 日前まで / 3 回以内
ゲッター水和剤	1,500 倍	収穫 7 日前まで / 2 回以内
スミレックス水和剤	1,000～ 2,000 倍	収穫 7 日前まで / 5 回以内

表 4 非結球レタス菌核病と灰色かび病の主な防除薬剤（平成 27 年 2 月 23 日現在）

薬 剤 名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数
アフェットフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内
ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～ 3,000 倍	収穫 14 日前まで / 3 回以内
トップジンM水和剤	1,500～ 2,000 倍	収穫 21 日前まで / 2 回以内

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。



生産資材部 営農企画課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040